

令和六年一月十四日(日)

十四時開演

新春能番組

本日の能 「土蜘蛛」のお話 武田 宗典 × 桂 春蝶

十四時三十分頃

仕舞

老松 大槻 文藏
東北 山階彌右衛門

地謡

笠田 祐樹
寺澤 幸祐
大西 礼久
井戸 良祐

休憩

能楽

十五時頃

類光 武田 祥照

太刀持 田中 誠士

胡蝶 山本 麗晃

僧・蜘蛛ノ精 林本 大

土蜘蛛

独武者 福王 知登

入違之伝

間

從者 喜多 雅人

下人 善竹 隆平

小鼓 上田 敦史

笛 齋藤 敦

從者 中村 宜成

大鼓 山本 哲也

太鼓 三島元太郎

後見

山階彌右衛門

笠田 祐樹

武田 宗典

地謡

稲本 幹汰
大槻 裕一
山中 雅志
井戸 良祐
寺澤 幸祐
大西 礼久
山本 博通
梅若 基徳

終了予定十六時過頃

あらすじ

原因不明の病に苦しむ源頼光のもとへ、胡蝶が葉を携え参上する。胡蝶は頼光を励ますが、病は益々重くなる。夜更け、頼光の寝室に見知らぬ僧が現れ、病状を尋ねてくる。不審に思い名を聞くと、「わが背子が」と歌を口ずさみつつ近付く。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物だった。次の瞬間無数の糸を繰り出し襲い掛かるが、枕元にあつた源家相伝の名刀、膝丸で斬りつけると、僧はたちまち姿を消す。騒ぎに駆け付けた頼光の侍臣、独武者に頼光はいきさつを語り、膝丸を「蜘蛛切」に改名すると告げ、打ち損じた蜘蛛の怪物を成敗するよう命じる。独武者が大勢引き連れ土蜘蛛の血をたどり葛城山に着くと、怪物の巣とおぼしき古塚が現れる。これを突き崩すと、その中から出てきたのは…。

出演者プロフィール



■大槻 文藏 おおつき ぶんぞう

人間国宝。シテ方観世流。1942年生まれ。祖父十三、父秀夫および、観世寿夫、八世観世鏡之丞に師事。紫綬褒章、旭日小綬章、日本学賞など受賞多数。大阪能楽養成会副会長、大阪文化芸国民健康保険組合理事長、公益財団法人大槻能楽堂理事長。2016年に重要無形文化財保持者各認定(人間国宝)。



■山階彌右衛門 やましな やえもん

シテ方観世流。重要無形文化財総合指定保持者。二十五世観世宗家 観世左近次男。2007年十二世山階彌右衛門襲名。(一社)観世会 副理事長。(一財)観世文庫 常務理事。国立能楽堂養成副主任講師。令和二年「第四回 伝統文化ボラ賞」優秀賞受賞。海外公演にも多数出演。



■三島 元太郎 みしま げんたろう

人間国宝。太鼓方金春流。1936年大阪生まれ。父三島太郎および前川宗閑、柿本豊次、金春惣右衛門に師事。2006年旭日双光章、2010年観世寿夫記念法政大学能楽研究所催花賞受賞。2014年重要無形文化財保持者各認定(人間国宝)。国立能楽堂三役研修講師。大阪能楽養成会主任講師。吹田在住



■林本 大 はやしもと たい

シテ方観世流。重要無形文化財総合指定保持者。公益社団法人能楽協会会員。1977年生まれ。吹田市在住。能 meets代表。十二世山階彌右衛門師に師事。文楽・茶道・落語・講談・浪曲の若手演者の集い「霜(そう)乃会」を結成。全国的に講演を行う「能 meets」展開。平成30年自身の芸道研鑽の為の自主公演「大の会」を立ち上げ、本格的な能公演を企画。

チケットご購入の方対象講座

お能をもっと楽しく鑑賞していただく為の

「土蜘蛛」解説講座

日時 12月21日(木) 10:30~12:30 場所 第一会議室

講師 林本 大 定員 先着30名(11月8日(水)より)

お申込み先 メイシアター 06-6386-6333(9:00~18:30)